



おのおのみなみ 地区社協だより

第 1 1 4 号

令和 6 年 3 月 1 日

発行・編集：大野南地区社会福祉協議会

事務局：相模原市南区相模大野 5-31-1

大野南まちづくりセンター内

TEL：749-2056

FAX：749-2116

Email: oonominamitiku@saga
miharashishakyo.or.jp



第 1 1 5 号発行予定：R6.7.1

能登半島地震により被災された方がたにお見舞い申し上げます。また地震により亡くなられた皆さまへ心よりお悔やみ申し上げます。被災地の一日でも早い復興を願っております。
南区合同庁舎1階、南保健福祉センター1階に募金箱を設置しています。



第2回福祉講座 『おどる介護士 うっしーのダンス体操教室』

講師：丑木 雄一氏

みんな笑顔いっぱい体操しました！うっしーこと丑木雄一さんは介護士歴 15 年。介護士として働く一方、ミュージカル等ダンスの舞台に出演。ダンスと介護を組み合わせたいと考案したのがダンス体操です。準備運動から始まり、うっしーさんのペースに引き込まれ、後半はモーニング娘や AKB48 の曲にあわせて楽しく体を動かしました。若者向けの曲でも簡単な振り付けで、参加者はみな張り切って曲に合わせて体操しました。最後にうっしーさんが原曲通りの振り付けで切れの良いダンスを披露してくださいました。
(令和 6 年 1 月 2 4 日 (水) 大野南公民館大会議室 2 にて)



衣装を変えて
モーニング娘の曲と同じ
振り付けで踊るうっしーさん



参加者の感想

「楽しくリフレッシュできた」
「体を動かすのは大変だが、
みんなと一緒にだどできる」
「参加型の講座は良い」
「うっしーさんのダンスがよか
った」

お知らせ

① 大野南地区社協3つのサロン

会場：南区地域福祉交流ラウンジ（ポーノ相模大野2F）



みんなのサロン：第1・第3火曜日、午前10時～11時30分

コーヒーやさん：第2・第4金曜日、午前10時～11時30分

みんなの子育てサロン「ぽっかぽか」第2・第4火曜日と翌水曜日

時間：午前10時～11時頃 ※身長・体重計をご利用いただけます。

いずれも申し込み不要。入室できる人数に制限がありますのでお待ちいただく場合があります。マスク着用、検温、手指の消毒にご協力ください。水分補給については各自で準備をお願いします。



② ふれあい事業

民生委員さんのご協力のもと年2回実施しています。11月は令和6年カレンダー、3月はポケットティッシュを対象者の皆さまへ絵葉書とともに配布いたします。

③ 募金結果報告



社協賛助会員募集： 2,305,144 円

※前年度実績：2,261,504 円

共同募金等結果： 4,568,722 円

※前年度実績：4,529,179 円

赤い羽根： 3,215,502 円（内街頭募金 10/1: 53,675 円、10/2: 47,916 円）

年末たすけあい： 1,353,220 円

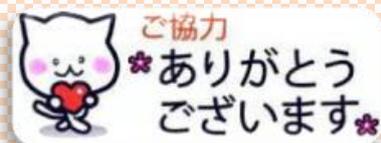
日本赤十字会員増強運動： 2,927,700 円

※1月末日現在

④ 寄付金報告

中和田生き生き会様： 35,495 円

株式会社永田屋様： 126,950 円



地区社協視察研修報告

2月6日（火）、大雪の翌日でしたが、社協役員他17名の参加で足柄療護園の視察研修に行ってきました。

理事長より施設の紹介と障害者データについて、また、利用者さんによる「命の大切さ、何のために生きるのか」という講話を聞きました。

・・・「母はいろいろなところに連れて行ってくれた。その体験が講演の仕事に繋がった。この姿を母に見てほしかった。」・・・

など、家族への想いのあふれる講話でした。

施設ではひとりひとりに役割をもってもらいたいと、自らの体験を語る講演活動を行っています。

詳しくは足柄療護園のホームページをご参照ください。



令和6年度定期総会の予定
5月23日（木）午後2時～
（於）南市民ホール

令和5年度社協だより編集委員 第112～114号発行

大木 恵、中村洋子、大野喜久子、岡城孝雄、浅岡信夫



サロン通信 第8号



令和6年3月1日 発行
大野南地区社会福祉協議会
いきいきサロン推進委員会

令和6年を迎えて

新年早々の能登半島地震や羽田空港での航空機事故でテレビにくぎ付けになりました。被災地の皆さんにお見舞いを申し上げるとともに一日も早い復興を心から願うものです。



さて、コロナウィルス感染対策が5類に移行して人々の感染対策への意識が薄れていますが、医療機関の皆さまはまだまだ警報を鳴らされています。インフルエンザや胃腸炎などの発症も見聞きますので、特に高齢の方は引き続きの感染対策(手洗い・マスク)をお願いします。

サロン運営ですが、そのようなわけでまだまだ飲食解禁となっておりません。運営担当の皆さんもやきもきなさっておられるでしょう。様子を見ながら従前の形にしていきましょう。



今年も一年、皆様に楽しみと健康をお届けできるよう力を尽くしましょう。サロンにお出かけになった皆さんも、お元気ならちょっとのお手伝いをお願いします。皆様のご協力で、地域のサロンとして育てていきましょう。よろしくお願いいたします。

いきいきサロン推進委員会 委員長 中村 洋子



普通救命講習会を開催しました(令和5年11月30日(木))



昨年に引き続き、サロン運営者と担い手さんを対象に普通救命講習会を開催しました。昨年に比べて参加者は少な目でしたが、「続けることが大切」と2年連続で参加をされた方もいました。今年の講師は、上鶴間消防署から2名の消防士さんが来てくださいました。まずは鍛え抜かれた筋肉を披露してから実際に経験した災害現場のお話があり参加者は、救命措置の大切さを感じていました。心肺蘇生法や AED の使い方の説明後、一人ひとり体験をしました。参加者は「心マッサージをしながら AED のお願いをしたり、救急車の手配を伝えたりは一人では大変。周りの協力が大切と思いました。」と話していました。また、救急車が到着するまで10分以上心マッサージを続ける大変さも実感した様子でみなさんへとへとでした。講師から「今日はとてもみなさん熱心で優秀でした。」とお話がありました。今後も定期的に講習会を開催したいと思っています。是非参加をしていただきたいと思います。



(鍛えた身体の講師のおふたり)



(説明を熱心に見つめる参加者)



(実技前で緊張の様子)



サロン担い手さんにズームイン!!

今回は、大野南サロンとコーヒーやさんで活躍中の佐々木 明さんをご紹介します。



Q. ボランティア講座を受講しようと思ったきっかけは？

A. ボランティアに興味がありました。定年をきっかけに自分に何ができるか知りたくて受講しました。

Q. 実際に受講した感想は？

A. 無理せずに自分のできる範囲で活動すればよいとの事だったので、すぐにサロンに参加できました。

Q. 担い手としてサロンに参加した感想は？

A. おしゃべりや音楽など自分の得意な事で参加者が喜んでくれるのでやりがいにつながりました。

Q. 現在の思いとこれからの自分について教えてください。

A. ボランティア仲間や参加者さんと交流関係が広がりました。まだコロナ前に戻っていないので、制限がなくなり、飲食物を提供して会話ができるようになることに期待しています。

☆佐々木さん、ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。





ほほえみだより

発行:大野南地区社会福祉協議会 ほほえみネット推進委員会
連絡先:042-749-2056



超高齢社会となり、地域に高齢者だけの世帯、おひとり暮らしの方が増加しています。そんな地域の中で、民生委員の皆さんは、住民の立場に立って相談や社会福祉の向上に努めていられます。しかし、常に全体を見守るには限界があり、地域の中から少し協力支援ができたなら「ほほえみネット」活動は始まりました。

近隣のお付き合いは昔に比べると希薄になっていますが、ご近所の温かな見守り合いがあれば、「いつもと違う!」などの異変にも気がつきやすくなり、緊急連絡や相談窓口につながられます。地域のさりげない見守り活動「ほほえみネット」に少しのご理解ご協力をお願いします。

ほほえみネット推進委員会 委員長 大野喜久子

第6回 ほほえみネット推進交流会を開催しました

ほほえみネットの推進を目的に、地域の見守りにご協力いただいている自治会や民生委員児童委員の方々と、地域包括支援センター、南高齢・障害者相談課にアドバイザーとしてご出席いただき、11月16日に交流会を開催しました。

関係機関の事業概要と事例を紹介いただいたのち、4つのグループに分かれ、活発な意見交換を行いました。参加者アンケートにも多数の回答をいただきました。

◎地域の中で活躍されている方と話ができて有意義だった。

◎「ほほえみネット」を知らなくても、民生委員、自治会長にと思う方は多いと思う。ネットワークができています。

◎他の自治会、民生委員の方と意見交流ができ、今後の自治会活動の参考になった。

「ほほえみネット」の認知度はまだ低いですが、見守り活動は必要との思いは高いことがわかる交流会になりました。



今後の活動

「ほほえみネット」を地域に広げていくために、地域の方々(商店等)にも協力をお願いする予定です。高齢者の方も障がいのある方も、地域でより安心して暮らせるまちづくりを一緒に進めていきましょう。